

広報

my hometown TOMIOKA 2015

とみおか

4

No.630

復興加速へ 常磐道全線開通
常磐富岡IC上空

平成27年度一般会計当初予算

130億7,079万円

◆歳出

町内のインフラ復旧、生活支援や健康管理に加え、今年度は、町内の復興拠点の整備や除染効果を確認・検証するための事業、町民相互の親交を深める事業を重要施策と位置づけ予算編成を行いました。

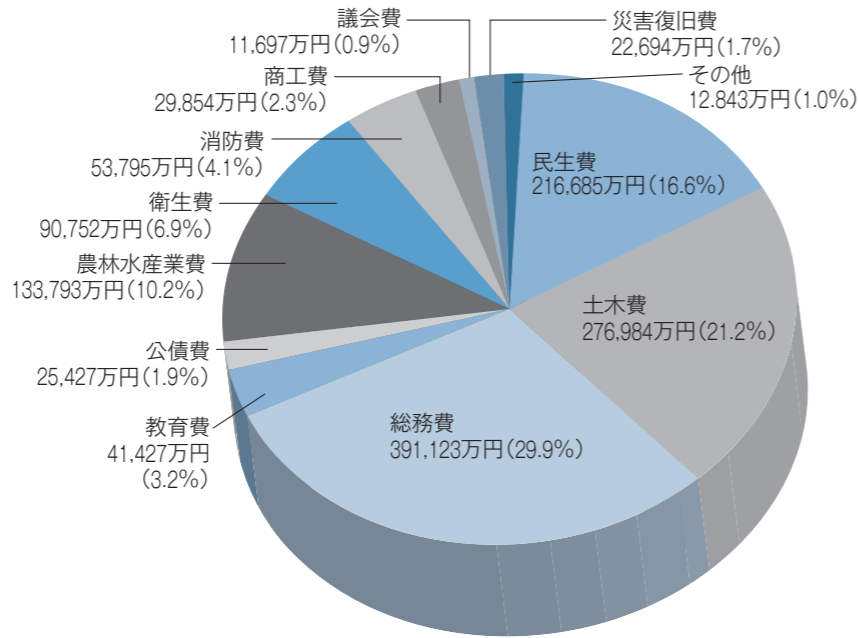
復興・再生関連予算は、特別会計への復旧関連の繰出金を含めると、71億2千万円。役場庁舎の復旧、復興拠点の整備を進めます。

◆基金・地方債

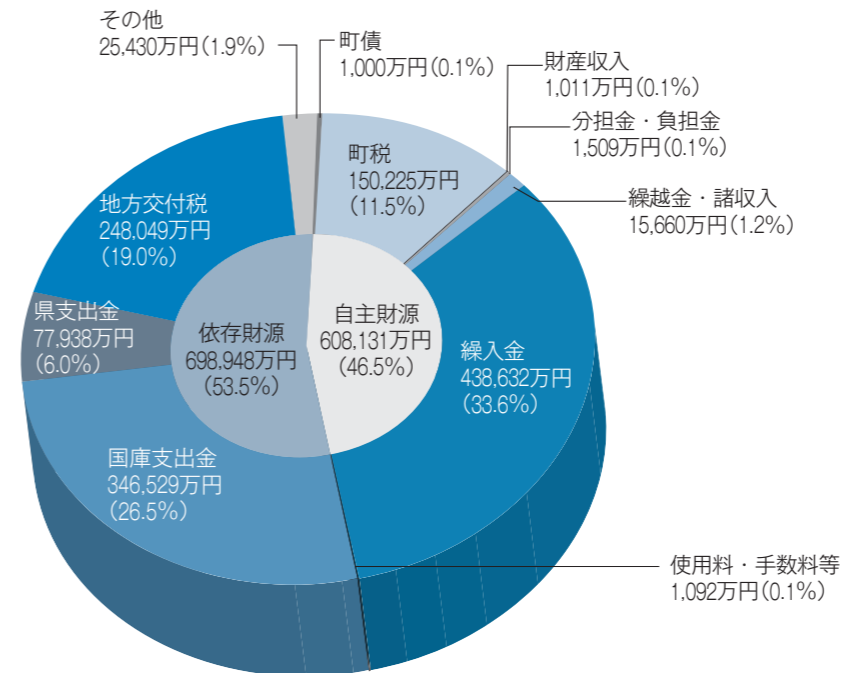
財政調整基金や減債基金、その他の目的基金の26年度末の残高は、総額で109億円を超える見込みです。本年度は復興財源として43億円を取り崩す予定ですが、国庫支出金などの確保により、取り崩し額を縮減するよう努めます。

地方債の残高は、本年度末で51億円となる見込みです。新規起債を控え、将来負担額の減少に取り組んでまいります。

歳出130億7,079万円



歳入130億7,079万円



3月9日から13日まで開かれた3月定例議会において、平成27年度予算が可決されました。

一般会計予算は130億7,079万円、対前年度比25.3%増加。特別会計予算を合わせた総額は、215億5,894万円で、21.8%増加。

過去最大規模の予算を編成し、より加速した復興・再生の実現を目指します。

◆歳入

町民税や固定資産税の減免は今年も継続しますが、町税は8,927万円増の15億225万円を計上しています。

復旧復興事業の財源として、震災復興特別交付税20億4,371万円、福島再生加速化交付金をはじめとする国庫支出金18億3,978万円を計上しています。

【特別会計予算】

(単位：万円)

| | 27年度予算額 | 26年度予算額 | 増減率(%) |
|--------------------|-----------|-----------|--------|
| 国民健康保険事業 | 342,357 | 289,702 | 18.2 |
| 蛇谷須地区特定環境保全公共下水道事業 | 10,648 | 3,238 | 228.8 |
| 公共下水道事業 | 186,876 | 266,461 | -29.9 |
| 農業集落排水事業 | 54,652 | 22,908 | 138.6 |
| 曲田土地区画整理事業 | 97,385 | 6,253 | 1457.4 |
| 介護保険事業 | 149,716 | 130,780 | 14.5 |
| 後期高齢者医療 | 3,277 | 3,120 | 5.0 |
| 仮設診療所 | 3,254 | 3,277 | -0.7 |
| 介護サービス事業 | 648 | 623 | 4.0 |
| 小計 | 848,815 | 726,362 | 16.9 |
| 一般会計 | 1,307,079 | 1,043,345 | 25.3 |
| 一般会計+特別会計合計 | 2,155,894 | 1,769,707 | 21.8 |

【地方債現在高(見込額)】

(単位：万円)

| 会計名 | 平成26年度末残高 | 平成27年度中 | | 平成27年度末残高 |
|------------------|-----------|---------|--------|-----------|
| | | 起債見込額 | 償還見込額 | |
| 一般会計 | 151,741 | 0 | 23,474 | 128,267 |
| 蛇谷須地区特定環境保全公共下水道 | 4,076 | 0 | 1,191 | 2,886 |
| 公共下水道 | 327,052 | 0 | 31,214 | 295,837 |
| 農業集落排水 | 91,319 | 0 | 6,125 | 85,194 |
| 計 | 574,188 | 0 | 62,004 | 512,184 |

【基金の状況(見込額)】

(単位：万円)

| 基金名 | 平成26年度末残高 | 平成27年度中 | | 平成27年度末残高 |
|----------------|-----------|---------|---------|-----------|
| | | 積立額 | 取くすし額 | |
| 財政調整基金 | 523,325 | 267 | 157,514 | 366,079 |
| 減債基金 | 28,492 | 6 | 0 | 28,498 |
| 行政財産維持基金 | 8,545 | 2 | 0 | 8,547 |
| 公共用施設維持基金 | 575 | 0 | 0 | 575 |
| 社会福祉基金 | 29,555 | 12 | 0 | 29,566 |
| 町勢振興基金 | 122,897 | 36 | 60,000 | 62,933 |
| 文化振興基金 | 36,851 | 41 | 0 | 36,892 |
| ふるさと水と土基金 | 1,071 | 0 | 0 | 1,071 |
| 滝川ダム建設対策基金 | 1,718 | 0 | 1,717 | 1 |
| さくら事業基金 | 562 | 0 | 0 | 562 |
| 公共用施設維持運営基金 | 118,194 | 103,093 | 90,000 | 131,287 |
| 電源交付金公共用施設維持基金 | 14,250 | 4 | 0 | 14,253 |
| 双葉地区教育構想支援基金 | 3,277 | 3 | 143 | 3,138 |
| 災害復興基金 | 116,204 | 28 | 50,000 | 66,232 |
| 東日本大震災復興交付金基金 | 88,354 | 22 | 79,258 | 9,119 |
| 小計 | 542,052 | 103,241 | 281,118 | 364,176 |
| 計 | 1,093,870 | 103,514 | 438,632 | 758,753 |

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

予算用語の説明

歳入予算

- 歳入…………… 1年間のすべての収入のこと
- 町税…………… 皆さんが町に納めた税金
- 繰入金…………… 各種基金から繰入れられたお金
- 繰越金…………… 前年度から繰越されるお金
- 財産収入…………… 町が持つ財産を運用したり売ったりしたお金
- 諸収入…………… 雑入などその他の様々な収入
- 使用料及び手数料…………… 皆さんが住民票等を取得する際に手数料として払ったお金
- 分担金及び負担金…………… 特定の利益を受けた方から負担していただいたお金
- 国庫・県支出金…………… 特定の目的のために国や県から交付されたお金
- 町債…………… 町の借金のこと。大きな事業を行うために、国や金融機関から借入れたお金
- 地方交付税…………… 財政運営上の不足額を補う普通交付税、災害時などに交付される特別交付税、東日本大震災対応のため減収の補填や復興の財源として交付される震災復興特別交付税の総称
- 各種交付税…………… 所得税や自動車取得税など国や県から配分されたお金

歳出予算

- 歳出…………… 1年間のすべての支出のこと
- 議会費…………… 議会活動に要する経費
- 総務費…………… 一般的な管理に要する経費
- 民生費…………… 町民が一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費
- 衛生費…………… 町民が健康にして衛生的な生活環境を保持するための経費
- 農林水産業費…………… 農林水産業の振興に要する経費
- 商工費…………… 商工業の振興に要する経費
- 土木費…………… 土木事業に要する経費
- 消防費…………… 消防に要する経費
- 教育費…………… 教育関係に要する経費
- 災害復旧費…………… 災害によって生じた被害の復旧に要する経費
- 公債費…………… 町債返済に要するお金

「復興拠点整備」と「長期待避、将来帰還」に向けて 平成27年度の主な復興・再生事業をご紹介します

環境・衛生・廃棄物

9億5,000万円

ガンマカメラを利用して、除染後の線量を確認する事業をはじめ、除染後の宅地の管理のために除草剤を配布します。
また、夜の森の桜の保全活動も実施します。

| | |
|------------|---------------|
| 線量モニタリング | 除染検証委員会の運営 |
| | 放射線量の可視化事業 |
| | 車載測定器整備 |
| 廃棄物処理施設の整備 | 工事由来土砂の保管・再利用 |
| 有害鳥獣駆除 | ネズミ駆除シートの配布 |
| | 環境クリーン化事業 |
| | 鳥獣被害防止緊急対策 |
| 環境保全 | 除草剤配布 |
| | 桜保全事業 |



保健・福祉・医療

2億3,000万円

町内の復興拠点に診療所を整備するための事業費を計上しました。
また、放射線健康調査や食品の放射性物質モニタリングを引き続き実施します。

| | |
|-----------------|-------------|
| 住民の健康管理 | 放射線健康調査 |
| | 内部被ばく検査 |
| 食物の放射性物質モニタリング | 消費生活対策事業 |
| 放射能測定設備の整備・維持管理 | 個人線量計点検校正 |
| 医療・福祉施設の整備 | 町内仮設診療所の整備 |
| | 高齢者サポートセンター |



教育・文化

1億4,000万円

被災した文化交流センターの復旧に向け、調査設計を実施します。
就学支援補助と子ども友情の集いは引き続き実施します。

| | |
|---------------|--------------|
| 教育施設の災害復旧 | 文化交流センター調査設計 |
| 被災児童の就学支援 | 就学支援補助 |
| 児童生徒の文化体育交流支援 | 子ども友情の集い |



防災・安全・安心

6億2,000万円

防火防犯パトロールと防犯カメラによる監視活動に引き続き取り組みます。
富岡川以北の地区に防火帯を設置するため、除染前農地の除草を行います。

| | |
|------------|------------|
| 防災・防犯体制の強化 | 防火防犯パトロール |
| | 防犯カメラ設置 |
| | 宅地周辺防火対策除草 |



経済・商工・観光・雇用

1億8,000万円

町内で事業を再開しようとする事業者への補助を引き続き実施します。

| | |
|-------------|--------------|
| 被災者の事業再開支援 | 被災事業者等再開支援補助 |
| 産業人材育成・雇用対策 | 輸送バス・行政支援 |



農林・林業・水産業

3億9,000万円

除染後農地の放射線のモニタリングを行うほか、エネルギー作物栽培・稲作試験栽培の支援を行います。

| | |
|-----------------|--------------|
| 放射性物質の検査と除去・低減化 | 除染後農地のモニタリング |
| 農地・林野・水産施設整備 | 農地等維持修繕 |
| | 農地基盤整備 |
| 農林水産業再開支援 | 一時就農補助 |
| | 営農再開支援 |



公共土木施設

41億6,000万円

役場本庁舎の復旧工事に着手、工事完了は28年度末の見込みです。
町内に災害公営住宅を整備するため、適地調査を実施します。
町内に休憩所兼連絡所を設置します。

| | |
|----------------------|-------------|
| 災害復旧事業 | 庁舎・保健センター復旧 |
| | 農地等災害復旧 |
| | 道路橋梁施設災害復旧 |
| | 漁協施設災害応急対策 |
| | 特環下水道災害復旧 |
| | 公共下水道災害復旧 |
| 災害公営住宅整備 | 農集排水災害復旧 |
| | 町内復興住宅適地調査 |
| 防災集団移転 | 防災集団移転事業 |
| 被災市街地復興土地区画整理事業 | 土地区画整理事業 |
| | 拠点施設整備 |
| | 連絡所・休憩所整備 |
| | 公共交通環境整備調査 |
| | 区画道路等調査設計 |
| 復興交流基盤整備 (拠点・道路等) | 防災行政無線整備 |



生活・地域づくり

3億6,000万円

避難生活の支援はもちろん、町民相互の親交を深めるため、復興の集い事業やタブレットの活用、サロン事業を引き続き実施していきます。

| | |
|---------------------------|------------|
| 避難者の生活再建支援、 生活拠点の整備・維持 | 応急仮設住宅維持管理 |
| | 県内外避難者交流事業 |
| | コミュニティ拠点支援 |
| 地域コミュニティ維持対策 | 買い物支援事業 |
| | タブレット活用 |
| | 復興への集い |



前を向き、明日へ

人のいない町を、
除染や復旧作業の車が行き交う
ようやく開いた復興への扉
あの日から4年が過ぎた
しかし、時の流れは止まったまま
震災を忘れてはいけない
原発事故を風化させてはならない
人々は今も懸命に生きている
私たちは一人ではない
富岡の美しい情景を取り戻す日まで
絆をつないでいこう

震災、そして避難 5年目に寄せて 富岡町長 宮本 皓一

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から4年が過ぎました。

福島県においては今なお約12万人の方々が、本町にあっては全町民が全国47都道府県での避難生活を強いられています。長期に渡る避難生活の中で、様々な苦勞をされている町民の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

町長に就任し町政をお預かりしてから、私は多くの町民の皆さまからお寄せいただいた声を大切にし、富岡町の早期復興に向けて日々取り組んで参りました。

これまで、除染の進捗に伴い、町内においては道路・上下水道などの公共インフラ復旧や一部供用開始がなされ、防火・防犯対策としても、町消防団と業者委託による24時間体制の防犯パトロールや町内44カ所に設置した防犯カメラに加え、町内に滞在する除染業者の方々にも町内パトロールを委嘱し、対策強化に努めております。

また、常磐自動車道的全線開通やこれに伴う国道288号線、県道35号線(通称・山麓線)の通行規制解除など、重要交通網は着実に復旧・整備され、今後は津波により被災した富岡駅の再建を含めたJR常磐線的全線復旧が、当町のみならず双葉郡全体の復興にとって喫緊の課題となっております。

これらと並行し、私がかねてより提唱しております第三の選択肢、「長期待避・将来帰還」を実現する上で、生活再建を担う災害公営住宅についても、一部の住宅建設では遅れが出ているものの、漸時、整備が進められ入居が開始されました。

また、県外避難者支援策として、埼玉県さいたま市浦和区に県外避難者支援拠点事務所を開所し、4名の復興支援員が避難者宅の戸別訪問や交流イベントの開催、町行事への参加を促す「町民ふるさとバス」運行等の支援活動を開始いたしました。今後は更なる支援の拡充を図ってまいります。

これら緒に就いた復興を目に見える形で具現化するため、新年度予算にはインフラ等復旧経費の他、様々な復興関連予算を計上し、一般会計の予算総額は約130億円、特別会計を合わせると約220億円と過去最大の予算規模となりました。

今年、富岡町合併60周年となる記念すべき年です。記念式典や町民が広く集うイベントなどの開催を通して、離ればなれになつていく町民の皆さまと古里富岡への想いを共感し、復興に弾みをつけたいと考えております。今後とも、町民の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

富岡町民 都道府県別避難者数 (平成27年3月1日現在)

| No. | 都道府県 | 世帯数 | 人数 | No. | 都道府県 | 世帯数 | 人数 | No. | 都道府県 | 世帯数 | 人数 |
|-----|------|-------|--------|-----|------|-----|----|--|------|-------|--------|
| 1 | 北海道 | 36 | 71 | 19 | 山梨県 | 9 | 22 | 37 | 香川県 | 3 | 3 |
| 2 | 青森県 | 16 | 21 | 20 | 長野県 | 27 | 53 | 38 | 愛媛県 | 5 | 10 |
| 3 | 秋田県 | 17 | 25 | 21 | 岐阜県 | 1 | 4 | 39 | 高知県 | 2 | 6 |
| 4 | 岩手県 | 15 | 26 | 22 | 静岡県 | 32 | 52 | 40 | 福岡県 | 12 | 21 |
| 5 | 山形県 | 20 | 35 | 23 | 愛知県 | 28 | 57 | 41 | 佐賀県 | 1 | 3 |
| 6 | 宮城県 | 142 | 243 | 24 | 三重県 | 4 | 5 | 42 | 長崎県 | 4 | 7 |
| 7 | 福島県 | 5,556 | 10,908 | 25 | 滋賀県 | 6 | 12 | 43 | 熊本県 | 7 | 8 |
| 8 | 茨城県 | 290 | 603 | 26 | 京都府 | 10 | 13 | 44 | 大分県 | 8 | 11 |
| 9 | 栃木県 | 97 | 210 | 27 | 大阪府 | 20 | 38 | 45 | 宮崎県 | 6 | 10 |
| 10 | 群馬県 | 115 | 169 | 28 | 兵庫県 | 9 | 11 | 46 | 鹿児島県 | 9 | 15 |
| 11 | 埼玉県 | 275 | 565 | 29 | 奈良県 | 5 | 10 | 47 | 沖縄県 | 8 | 17 |
| 12 | 千葉県 | 232 | 446 | 30 | 和歌山県 | 2 | 3 | 48 | 国外 | 12 | 13 |
| 13 | 東京都 | 391 | 715 | 31 | 鳥取県 | 1 | 1 | 合計 | | 7,832 | 15,250 |
| 14 | 神奈川県 | 219 | 410 | 32 | 島根県 | 10 | 15 | 住民登録数 平成23年3月11日現在 6,331世帯 15,917人 平成27年1月1日現在 5,624世帯 14,108人 | | | |
| 15 | 新潟県 | 126 | 295 | 33 | 岡山県 | 4 | 11 | | | | |
| 16 | 富山県 | 5 | 8 | 34 | 広島県 | 6 | 12 | | | | |
| 17 | 石川県 | 10 | 17 | 35 | 山口県 | 4 | 14 | | | | |
| 18 | 福井県 | 10 | 17 | 36 | 徳島県 | 5 | 9 | | | | |



上下水道復旧事業

現在、町内各所でインフラの復旧が進められており、上下水道については平成26年10月から一部地域において使用が再開されました。

今後も富岡浄化センターの本復旧と共に工事を進め、帰還困難区域を除き平成28年10月までを目標に事業を展開していきます。



復旧が急がれる富岡浄化センター

国等への要望活動

町の復旧・復興、町民の生活再建のために、国や関係大臣に対して様々な要望活動を行っています。

その中で、除染に関する情報公開や常磐自動車道の全線開通、JRの順次再開通など一部実現したのものもありますが、賠償問題など町民の生活再建に係る分野ではまだまだ十分な回答がなされていないものも多く、今後とも強く要望活動を行います。



3月7日、山口公明党代表(左)へ要望書を提出

復興公営住宅の整備

昨年11月、多くの住民が待ち望んでいた県営復興公営住宅が郡山市日和田町に完成し、鍵の引渡し式が行われました。

現在、各地に建設される復興公営住宅への入居が進んでいますが、住環境改善の半面、入居者の孤独化が大きな問題として浮上しています。住民同士の繋がりを無くさずコミュニティを維持させるために、活発な自治会活動や支援員などによる個別訪問が必要不可欠となります。



郡山市日和田町の復興公営住宅

富岡町内の動画を配信します

町では、町内の様子を動画撮影し、富岡町公式ホームページやタブレット端末、富岡町公式フェイスブックにて配信しています。

4月は、町内各所で咲き誇る桜をご覧ください。4月中旬のアップを予定しておりますが、配信日が決まりましたら町ホームページ、タブレット等で改めてお知らせいたします。

古里再生と、生活再建を目指した取り組み

震災から5年目を迎えた今日、福島第一原発では度重なる汚染水漏れなど事故の収束には程遠い状況であり、町民は長期に渡る避難生活を強いられています。

まだまだ山積している課題に向き合いながらも、将来の住民帰還を目指し、町づくりのための様々な取り組みがなされています。

富岡町災害復興計画(第二次)

今年6月の計画策定に向け、公募による町民30人と役場職員26人で構成される検討委員会が、①産業再生部会 ②心のつながり部会 ③生活支援部会 ④情報発信部会 に分れ、ワークショップ方式で討論を重ねています。

今後は、完成した素案への意見公募(パブリックコメント)を実施し、10年先を見据えたマスタープランの策定を目指します。



活発な意見が出されるワークショップ

新たな町づくり(曲田地区土地区画整理事業)

この事業は、町の主幹事業として平成8年度から進められていたもので、震災後2年間休止していましたが、平成25年度の避難指示区域見直しにより当該地域への立入りが可能になったことから事業を再開しました。

今後は、曲田地区を復興の中核拠点と位置付け、平成30年度の完了を目指しJR富岡駅移転を含む再開発事業に取り組んでいきます。



復興の拠点となる曲田事業区

富岡町歴史・文化等保存プロジェクト

避難生活の長期化による建物の荒廃で家屋などの解体撤去が進めば、貴重な地域の歴史遺産が失われてしまいます。そのため町では、地域の歴史を語る資料(史料)を守り、重要な歴史資料を失わないために、富岡町歴史・文化等保存プロジェクトチームを立ち上げ、文化財の救出・保全活動を行っています。

将来は、資史料や文化財等を利用した子ども向けの郷土学習や、大人を対象とした歴史講座などの開催も検討できます。



富岡小学校三春校での郷土学習

4年間のあゆみ

平成23年
 3月11日 三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震発生。国内観測史上最大の震度6強、M9.0を観測①
 14時46分 富岡町災害対策本部設置
 14時50分 富岡町災害対策本部設置
 19時03分 福島第一原発で原子力緊急事態宣言を発令
 3月12日 福島第一原発から半径10km圏内の住民に対し、避難指示を発令。川内村他、中通り方面に避難②
 5時32分 福島第一原発1号機で水素爆発
 15時36分 福島第一原発3号機で水素爆発③
 3月14日 福島第一原発3号機で水素爆発③
 11時01分 川内村から郡山市に移動。
 3月16日 ビッグバレットふくしま他へ避難④
 3月17日 本町の友好都市である埼玉県杉戸町が避難用バス7台を手配。一部町民が杉戸町、幸手市、宮代町へ避難
 4月22日 福島第一原発から半径20km圏内を、立入り禁止の警戒区域に指定
 5月22日 一時帰宅開始⑤
 6月15日 応急仮設住宅入居開始⑥
 12月19日 富岡町役場郡山事務所、いわき・三春・大玉各出張所開所⑦
 平成24年
 1月8日 夜の森公園周辺及び富岡二中でモデル除染を実施(2月28日)⑧
 3月11日 東日本大震災富岡町追悼式を開催⑨
 9月1日 賠償基準、避難指示区域見直し、除染等についての住民説明会を開催⑩
 9月2日 町民コミュニティ支援システム(タブレット端末)運用開始⑪
 9月3日 国に対し今後5年間帰還できないとする宣言可決を報告
 10月15日 国に対し、避難指示区域見直し案を提出
 12月6日 富岡町第一原発事故に伴う富岡町の帰還に関する宣言を発動
 9月26日 富岡町第一原発事故に伴う富岡町の帰還に関する宣言を発動
 平成25年
 1月24日 県内外9会場で、避難指示区域見直しについての住民説明会を開催(2月20日)⑫
 1月30日 福島第一・第二原子力発電所事故による、原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針第三次追補発表
 3月25日 避難指示区域見直し⑬
 4月24日 国主導による帰還困難区域等への一時立入り開始
 6月26日 環境省が町内除染実施計画を公表。帰還困難区域を除き、平成25年度末を完了目標⑭
 8月 福島第一・第二原子力発電所事故による、原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針第四次追補発表
 12月26日 環境省が、町の除染実施計画を一部変更(帰還困難区域を除き平成28年度末を完了目標)に
 平成26年
 1月 町内道路及び下水道災害復旧工事開始
 1月8日 環境省が本格除染を開始⑮
 1月24日 県内外7会場で町政懇談会を開催(2月12日)⑯



心の復興をめざして

平成23年
 9月1日 富岡町立幼稚園・小中学校三春校が開校①
 10月1日 富岡高校バドミントン部が国体初優勝を飾る
 11月20日 第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会出場②
 12月23日 小中学生を対象とした「再会のことば」を開催(羽鳥湖高原レジーナの森)③
 平成24年
 1月8日 富岡町成人式を開催
 新成人23人中、13人が出席④
 (ヘルヴィ郡山館)
 2月9日 郡山市内に「ふくしま絆カフェ富岡」開所
 2月18日 福島市内に「富岡町さくらサロン」開所
 3月11日 「おだがいさまFM」開局
 4月16日 須賀川市藤沼湖自然公園において富岡町パークゴルフ協会が、震災復興祈願「げんき富岡パークゴルフ大会」を開催⑤
 4月26日 大玉村安達太良急仮設住宅敷地前に「富岡えびすこ市・場」がオープン⑥
 5月12日 「郡山方部居住者会」設立
 5月24日 いわき地区広域自治会「さくらの会」設立
 6月9日 「とみおかスポーツフェスタin三春」を開催⑦
 8月 根本拓也君(小学6年)が本県選抜選手として全日本小学生ソフトテニス大会に出場。初優勝に大きく貢献⑧
 8月4日 富岡高校女子バドミントン部が全国高校総体で初優勝、男子は準優勝
 8月5日 富岡町少年剣道団が福島県総体で5連覇を達成⑨
 8月20日 富岡一中バドミントン部が、全国中学校体育大会で2年連続男女ダブル優勝
 8月24日 「富岡町中学生再会のことば」を開催(25日・警梯熱海)⑩
 9月15日 「いわき市在住富岡町民すまれ会」設立
 10月18日 郡山市富田若宮前急仮設住宅敷地内で、富岡町富田飯設・借上げ住宅老人クラブ会長杯「クラブ・ゴルフ大会」を開催⑪
 10月23日 世界ジュニアバドミントン選手権大会で、富岡高校の桃田賢斗選手が日本人初となるシングルス優勝、大堀彩選手が3位入賞を飾る⑫
 11月18日 第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会出場
 11月24日 「いわき光のさくらまつり」点灯式
 夜の森の校並木が復活
 12月1日 「いわき四倉交流サロン」開所
 12月3日 「好間町バトロール富岡隊」結成
 12月22日 郡山市南一丁自仮設ボランティア「おだがいさま隊」結成
 12月27日 「小学生再会の集い」を開催(28日、スパリゾートハワイアンズ)⑬
 平成25年
 1月7日 郡山市内に町立養護老人ホーム「東風荘」開所⑭
 1月9日 いわき市内に富岡町高齢者等サポート施設「笑顔」開所
 1月13日 富岡町成人式を挙行
 4月20日 広野町で「富岡町の集い」開所(21日)⑮
 5月19日 震災後初、3年ぶりの富岡町消防団春季検閲を開催⑯



| | |
|--------|---|
| 1月29日 | 国によるフクシマエコテッククリーンセンター埋立処分計画案及び除去土壌等の中間貯蔵施設の建設案を説明 |
| 1月30日 | 福島第一原発が廃炉となる |
| 2月 | 家庭内粗大ごみ、家電の回収を開始 |
| 2月6日 | 福島県原子力損害対策協議会による、原子力損害賠償の完全実施に関する緊急要望・要求活動を実施 |
| 2月10日 | 被災家屋解体受付開始 |
| 2月19日 | 大玉村と富岡町による復興公営住宅整備協定締結① |
| 2月22日 | 常磐自動車道 広野IC・常磐富岡IC間再開② |
| 4月1日 | 「災害に係る住家の被害認定基準適用指針運用緩和」田村市郡路町の避難指示解除準備区域を解除 |
| 4月11日 | 有害狩猟鳥獣捕獲隊に委嘱状 |
| 4月17日 | さくらサミット加盟自治体間の災害時相互応援協定締結③ |
| 4月23日 | 富岡町土地改良区総代総選挙 |
| 6月 | 毛置地区に仮設焼却施設建設着工④ |
| 7月 | 富岡町歴史・文化等保存プロジェクトチームによる民間所有文化財救出開始⑤ |
| 7月22日 | 常磐自動車道舗装プラント火入れ式 |
| 8月 | 富岡浄化センター本復旧工事に向け、下水道企業団と契約 |
| 8月1日 | 町内44カ所の防犯カメラ運用開始⑥ |
| 8月3日 | 福島県が犬養町、双葉町への中間貯蔵施設建設受入れを決定 |
| 8月8日 | 「特定廃棄物の埋立処分事業計画」に関する住民説明会を開催（8月14日、県内外6カ所） |
| 8月9日 | 第一回富岡町災害復興計画（第二次）検討委員会⑦ |
| 8月末 | 公共下水道富岡浄化センター（仮設汚水処理施設）工事完了 |
| 9月15日 | 国道6号線 富岡1・双葉間（14・1km）の交通規制が解除に |
| 9月24日 | 原子力賠償審査会が町内の被害状況を視察⑧ |
| 9月25日 | 除染後の町内の農地保全や営農再開に向けた協議を開始 |
| 10月 | 個人積算線量計（D・シヤトル）貸出開始 |
| 10月1日 | 町内一部地域で上水道が再開 |
| 10月1日 | 川内村の避難指示解除準備区域を解除 |
| 10月3日 | 富岡町行政長官が町内を視察 |
| 10月22日 | 役場正庁で環境省と意見交換会を実施⑨ |
| 10月26日 | 福島第一原発1号機原子炉建屋力パー解体作業開始⑩ |
| 11月1日 | 福島県知事選挙で内堀雅雄氏が初当選 |
| 11月1日 | 県営として初の復興公営住宅が郡山市日和町に完成⑪ |
| 11月13日 | 町政懇談会を開催（12月7日、県内外10会場）⑫ |
| 11月21日 | 内堀福島県知事と双葉郡町長による意見交換会を開催 |
| 12月 | 衆議院が解散 |
| 12月 | 富岡町健康手帳配付開始⑬ |
| 12月11日 | 町内の津波流出がれき撤去開始 |
| 12月22日 | 福島第一原発4号機の使用済み核燃料取出し完了⑭ |
| 12月22日 | 富岡町役場いわき支所が移転。富岡町社会福祉協議会いわき事業所、いわき平交流サロンと共に施設を集約⑮ |
| 12月23日 | 政府が、避難区域連携による2020年を復興の目標とする考えを示す |
| 12月23日 | 政府が、避難区域連携による2020年を復興の目標とする考えを示す |
| 12月26日 | JV（除染工事共同企業体）が町内パトロール隊を結成⑯ |
| 12月28日 | 経産省と東京電力が、営業損害賠償を平成28年2月で終了する素案を発表 |
| 12月28日 | 政府が、南相馬市の特定避難推奨地点142地点を解除 |



| | |
|--------|---|
| 6月22日 | 「さくらスポーツフェスタin三春」を開催 |
| 7月28日 | 双葉郡町村対抗野球大会が復活。富岡町は準優勝 |
| 8月7日 | 富岡高校男子バドミントン部が全国高校総体で初優勝。女子は準優勝 |
| 8月10日 | 「富岡町小・中・高校生再会の集い」を開催①（ビッグパレットふくしま） |
| 8月10日 | 三春町熊耳応急仮設住宅で「夏祭り復興盆踊り」を開催② |
| 8月17日 | 富岡一中バドミントン部が全国中学校体育大会で3年連続男女アベック優勝 |
| 9月5日 | 郡山市といわき市で、3年ぶりの敬老会を挙行③ |
| 9月12日 | 第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会出場 |
| 11月17日 | 富岡小学校三春校で初の屋外行事・持久走大会を開催④ |
| 11月29日 | 富岡中学校三春校生が、三春町熊耳応急仮設住宅でボランティア活動⑤ |
| 12月17日 | 富岡高校男子サッカー部が、5年ぶり2回目となる第92回全国高校サッカー選手権に出場。1回戦で松山商業高校を破り、全国初勝利を飾る⑥ |
| 平成26年 | 富岡町成人式を挙行 |
| 1月24日 | 震災後初となる「富岡町表彰式・賞詞交換会」を開催⑦ |
| 4月12日 | 広野町で「富岡町復興への集い2014」開催⑧ |
| 4月20日 | 富岡町消防団春季検閲を開催 |
| 6月 | 「しらかわ地域富岡の会」設立 |
| 7月26日 | 「富岡町三再会の集いinいわき海浜自然の家」を開催 |
| 7月27日 | 双葉郡町村対抗交流野球大会で富岡町が5年ぶりの優勝を飾る⑨ |
| 8月1日 | 富岡高校バドミントン部が全国高校総体で史上初の男女団体アベック優勝に輝く⑩ |
| 8月7日 | 「富岡町子ども友情の集い」を開催（ビッグパレットふくしま）⑪ |
| 8月19日 | 富岡一中バドミントン部が、第44回全国中学校バドミントン大会で、女子団体4連覇を含む大会5冠を達成⑫ |
| 9月4日 | 郡山市といわき市で敬老会を挙行 |
| 9月14日 | 市町村対抗福島県軟式野球大会で富岡町チームがベスト8に |
| 9月27日 | 富岡小中学校三春校グラウンドにて、震災後初となる町民グラウンド・ゴルフ大会を開催 |
| 9月28日 | 「ふたばワールドinかわうち」を開催⑬ |
| 10月28日 | いわき市泉に高齢者支援活動拠点サポートセンター「いすみ」開所 |
| 11月8日 | 富岡町消防団が、第24回全国消防操法大会小型ポンプ操法の部に出場⑭ |
| 11月16日 | 第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会出場 |
| 1月3日 | 富岡高校女子サッカー部が、4年ぶり5回目となる第23回全国高等学校女子サッカー選手権大会に出場⑮ |
| 1月11日 | 富岡町成人式を挙行 |
| 1月22日 | 富岡町表彰式・賞詞交換会を開催 |
| 2月4日 | 富岡中学校三春校で立志のついでを開催⑯ |





平成27年 富岡町東日本大震災慰霊祭

東日本大震災から4年目を迎えた3月11日、郡山市のおき郡山斎苑において富岡町東日本大震災慰霊祭が行われ、出席した約120名が災害関連で亡くなられた方々のご冥福を祈りました。

式では、地震発生時刻の14時46分に黙とうを捧げたあと、宮本町長が「深い悲しみと困難を乗り越え、1日でも早く元の生活を取り戻すことが天国で見守ってくれている御霊へ報いることであり、残された私たちの使命です」と式辞を述べ、ご遺族を代表し、避難先の病院で義母を亡くされた遠藤スミ子さん（下千里）が「避難がなければもっと長生きできたかもしれません。これからは町民が一体となり、復興・再生へ一歩一歩確実に進んでいくことを約束します」と、故人へ哀悼の意を表すとともに、富岡町への強い思いを語られました。

式典後には、富岡町仏教会による追悼法要が行われ、震災の犠牲となった方々の御霊に祈りを捧げました。



黙とうを捧げる列席者



遺族代表の言葉を述べる遠藤さん

誓いの言葉——震災を忘れず、未来に向かって



富岡二小6年 遠藤陸君

この震災で、生活は大きく変わりました。当時は、震災を受け入れられず悲しむばかりでしたが、富岡の友だちと再会して楽しめるようになりました。自分の夢や未来を前向きに考えて生きていきたいです。

大震災で、自然災害の恐ろしさや食べ物をいただくありがたさ、家族や友だちの大切さを知り、新しい友だちとも出会いました。震災を忘れずに1つの思い出としていきたいです。

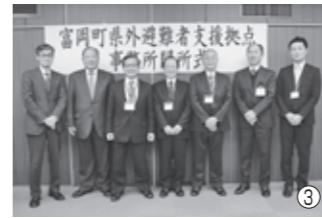


富岡一小6年 原田萌さん

| | | |
|-------|-------|--|
| 平成27年 | 1月 | 町内の帰還困難区域（桜並木）で本格除染を実施 |
| | 1月7日 | JR富岡駅の解体工事を開始（2月中旬終了）① |
| | 1月16日 | 環境大臣が、1月中の中間貯蔵施設への搬入を断念し、3月11日までの搬入を目指す考えを発表 |
| | 1月18日 | 町内の津波被害住民に対する防災集団移転促進事業説明会を実施（2月まで20回）② |
| | 1月20日 | 県外避難者の支援拠点事務所を、さいたま市浦和区に開設③ |
| | 1月23日 | シャープ富岡太陽光発電所工事を着工④ |
| | 1月27日 | いわき市小名浜下神白団地の、富岡町民対家復興公営住宅2棟が完成⑤ |
| | 1月31日 | JR常磐線原ノ町1電田間バス運行開始 |
| | 2月 | 避難者の高速道路料金無料措置が、平成28年3月31日まで延長決定 |
| | 2月3日 | 大熊町、双葉町で中間貯蔵施設建設工事が着工 |
| | 2月5日 | 富岡町農業復興組合が発足⑥ |
| | 2月18日 | 楮葉町、川内村で栽培された野菜すべての出荷制限が解除 |
| | 2月19日 | 富岡町議会が、環境省に対し民間管理型最終処分場（エコテックフクシマクリーンセンター）の他地域建設及び国有化再検討を要望。環境省は要望に対し難色を示す |
| | 2月25日 | 福島県が中間貯蔵施設への搬入を容認し、政府へ伝達 |
| | 3月1日 | 常磐自動車道常磐富岡IC・浪江IC間が開通し、埼玉県から宮城県までの全線300・4Kmが繋がる⑦ |
| | 3月7日 | 富岡町津波被災地区復旧事業説明会を開催 |
| | 3月8日 | 曲田土地区画整理事業権利者説明会を開催 |
| | 3月11日 | 東日本大震災富岡町慰霊祭を開催⑧ |



④



③



②



①



⑧



⑦



⑥



⑤

津波被災パトカーを町内に保存 震災の記憶を後世に



東日本大震災による大津波で被災し、町沿岸部の仏浜地区に置かれていたパトカーが3月16日、町内の岡内東児童公園（双葉警察署北側）に移転されました。

このパトカーは、震災時の避難誘導中に津波に巻き込まれ被災したもので、当時乗務していた増子洋一警視と佐藤雄太警部補が殉職。多くの住民の命を救った2人の警察官を忘れないために、パトカーを震災遺産として残してほしいと町民有志が町などに要望し、関係機関と協議を重ね保存に至りました。

この日の設置式には、殉職された佐藤警部補のご両親や警察関係者ら約40人が出席。宮本町長と渡部敏久双葉署長、水島進富岡地区安全運転管理者協会会長が挨拶したあと、出席者が被災車両前に花を手向け、改めてお二人の冥福を祈りました。

パトカーは式典後に防錆剤が塗布され、今後同公園で設置展示されます。

大切な仲間との思い出を 胸に 今、旅立ちのとき

富岡町立幼稚園の修了式並びに、富岡第一・第二小学校、富岡第一・第二中学校、県立富岡高等学校の卒業式が過日行われ、児童・生徒たちは恩師や在校生に見送られながら学び舎を後にしました。



自信を持って、夢を目指して 富岡第一中学校・第二中学校(3月13日)

たくさんの人と出会って、とても大きくなりました 富岡幼稚園(3月19日)



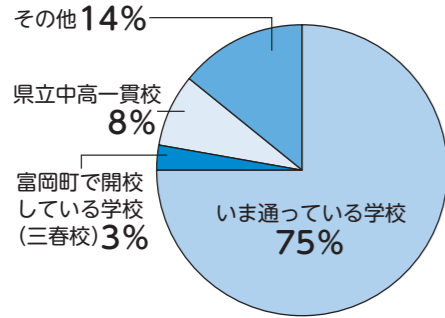
3学年がそろそろ最後の卒業式 富岡高等学校(3月1日)

困難は自分自身を成長させるチャンス 富岡第一小学校・第二小学校(3月23日)

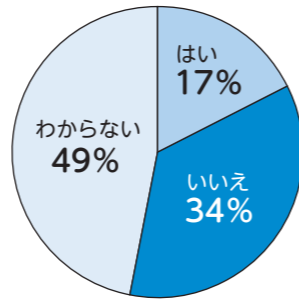
【13～15歳の結果(抜粋)】 回答率 186件/500件=37.2%

町への要望として、「町の復興」を望む答えが最多。ほかに「集いをもっと増やしてほしい」、「町への立ち入り」、「復興公営住宅を増やしてほしい」、「カウンセリング」、「震災への対策、対応」など広範囲にわたる意見があり、きめ細かな対応が求められています。

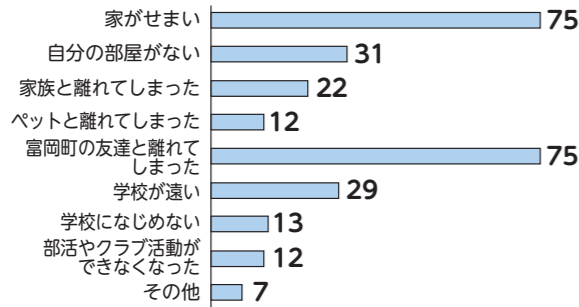
【希望する学校は?】



【将来、富岡町に帰りたいですか】



【今の生活で不便だと思うこと(複数回答)】

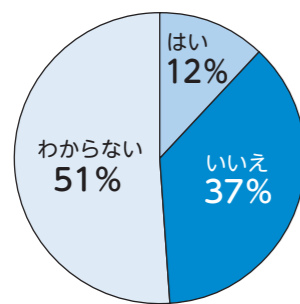


「希望する学校は」に対しては、前回と同じく「いま通っている学校」と75%の方が答え、「将来の帰町」については「いいえ」が8%増えました。また、「今、不便な事」には、「家がせまい」「自分の部屋がない」「富岡の友達と離れた」がそれぞれ減らし、この年代でも住宅の再建がすすみ、避難先に馴染んでいる様子がみられました。その一方で、「学校になじめない」の声が13件ありました。

【16～18歳の結果(抜粋)】 回答率 164件/516件=31.7%

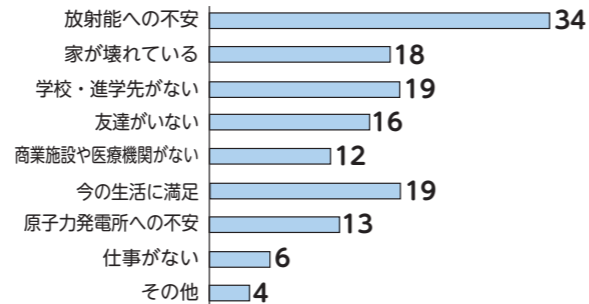
町への要望は、「町の復興」を望む答えが最多。ほかに「集いをもっと増やしてほしい」、「町への立ち入り」、「復興公営住宅を増やしてほしい」、「カウンセリング」、「震災への対策、対応」など広範囲にわたる意見があり、避難先別や避難先の世帯構成別など、類型・分析の上で対応を検討していく必要があります。

【将来、富岡町に帰りたいですか】



将来の帰還の帰還意向は、年代が上がるごとに、「はい」の声が減る傾向となりました。

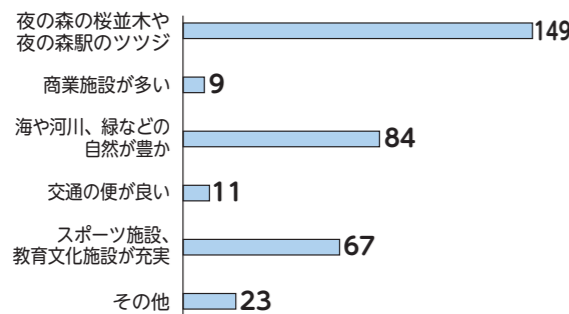
【帰りたくない理由は(複数回答)】



「帰りたくない理由」には、「放射能への不安」「原子力発電所への不安」と、原発関連への不安の声がありました。

「富岡町の誇れること」の問いには、「夜の森の桜や夜の森駅のツツジ」「海や河川、などの自然が豊か」、次に「スポーツ施設、教育文化施設が充実」に答えが集まり、豊かな自然と教育文化施設の充実を感じていたと思われ、どちらも、前回のアンケートと同じ項目に声が集まりました。

【富岡町の誇れること(複数回答)】



富岡町子どもアンケート 結果速報

町は2014年12月19日から同31日までの約2週間、10～18歳の子どもたちを対象にしたアンケート調査を行いました。調査は、現在の学校生活や家庭生活の状況把握を主な目的に、子どもたちの悩みや不安などを質問しました。質問票は、10～12歳用、13～15歳用、16～18歳用の年代別に3種類を用意し調査しました。

回答率は全体平均が34.9で、昨年比で全体で11.2ポイント下げました。最も大きく下げたのは16～18歳で、22.7ポイント減。ほか2世代も大幅に下げ、年齢が大きい世代ほど下落率は大きくなりました。

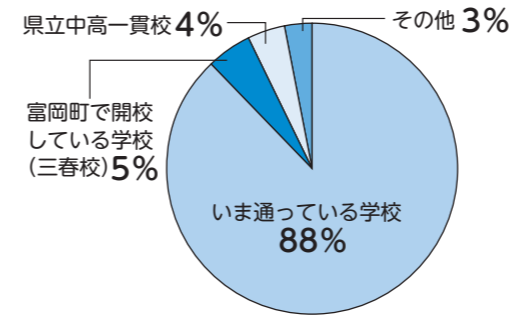
生活環境に関する質問のうち、家についての回答などから、子どもを持つ世帯が避難先ですでに生活再建を果たしている状況がうかがわれます。子育て世代の帰還に関する考え方が反映されたものと考えられます。

| | 送付数 | 回答数 | 回答率 |
|---------|-------|-----|-------|
| 10～12歳用 | 428 | 155 | 36.2% |
| 13～15歳用 | 500 | 186 | 37.2% |
| 16～18歳用 | 516 | 164 | 31.7% |
| 計 | 1,444 | 505 | 34.9% |

【10～12歳の結果(抜粋)】 回答率 155件/428件=36.2%

町への要望として、「みんなが安心して住めるようにしてほしい」の意見が一番多く、その他は具体的に、「友達に会いたい」、「いわき市に学校をつくってほしい」、「原発の廃炉(放射能をなくす)」、「復興公営住宅の建設」、「町内の自分の家が見たい」、「補償してほしい」、「帰りたい」がほぼ同数あり、ニーズは広範化しています。

【どこの学校に通いたいですか?】

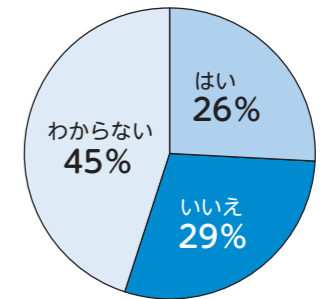


どこの学校に通いたいかの質問には、「いま通っている学校」の回答が、前回より24%も大きく増えた結果となりました。また、将来の帰還意向としては、「はい」が前回より14%減り、それにより「いいえ」と「わからない」が共に増え、全体では帰還の意思が減っています。

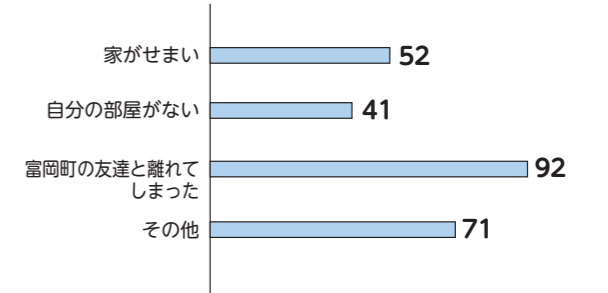
「今、不便な事」としては、「富岡の友達と離れた」が92件で最も多い回答でしたが、前回の回答より60件近く減少し、避難先の生活に馴染んでいる様子が見えます。

また、「家がせまい」が52件で前回は105件あったことから、仮設住宅や借り上げ住宅から、家の再建が進んでいると思われます。

【将来、富岡町に帰りたいですか】



【今の生活で不便だと思うこと(複数回答)】



TOMIOKA

桜通信

第36号



「復興」は将来世代のために環境整備をすること

「家業は3代目で…」とはいったが、23歳で富岡町に戻り、家業である靴店を継ぎ、父と共に中央通りにあった店を営んでいました。約10年間ほど家業に携わりましたが、高速道路の延伸工事の進行や大型店の進出な

昨年春、中央行政区副区長に就任。富岡町消防団本団副庶務も務めている。被災前年、富岡町内で開催された消防団の操法大会中に心臓発作に見舞われたが、一命を取りとめ、社会復帰を果たした。

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



3年連続した「不幸中の幸い」被災前年の平成22年6月13日、町消防団のポンプ操法大会に参加中、突然、心臓発作に襲われました。症状が出て間もなく意識を失い、心肺停止状態となり、周囲にいた救急隊員により蘇生措置が施され、ドクターヘリでいわき市内の病院に搬送されました。その後、同病院から仙台市内の大学病院に移され手術を受け、約3カ月の入院を経て社会復帰を果たすことができましたが、治療にご尽力いただいた医師によれば、周囲に消防・救

ど、経済環境の変化を感じるようになり、今から16年前、暖簾を下ろす決断をしました。廃業当時、家業が私で3代目だったこともあり、「家業は3代目で潰す」ということわざ通りになったなどと言われたこともありました。そうした点で家族に嫌な思いをさせたこともあったかもしれませんが、私は今でいう「価格破壊」のような現象が、近い将来必ずやってくるという確信があったため、負い目を感じず前を向いて歩こうと腹を据えました。その後、幸い就職先にも恵まれ、サラリーマンとして家族を守っていくことができました。



まちの思い出

将来のためにできること 原発事故により故郷を追われたこと、またそれによって被害が拡大してしまった部分があることは否めない事実で、辛く悲しいことです。私の自宅も被災直後に修理をしていけば、被害の拡大を防げたかもしれません。しかし、私たちという存在やお互いの絆が消えるわけではありません。今をどうするかといったことも必要とは思いますが、私は一人の町民として、子を持つ親として、復興にあたっては将来世代が新しい富岡を創りやすい環境整備をすることが大切なのではないかと思っています。

急隊員がいて、迅速な対応が受けられたからこそ助かることができたのだそうです。もし、他の場所で発症していたとすれば、かなり絶望的な状態だったということです。その後の震災では、原発事故による避難を強いられ、翌平成24年5月には冠動脈ステント留置手術を受けると、連続して大変な事態に見舞われましたが、いずれも、命が救われただけ不幸中の幸いだと思っています。



まちの思い出



福島県 郡山市

菅野 大輔 さん (下千里)

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



現実と向き合いながら、故郷と自分の将来を模索します

勤務先も甚大な被災地
被災翌年まで、私は発電所や工場といったプラントの建設や保守を行う会社に勤務し、被災当時は女川原子力発電所を担当する事業所勤務のため、宮城県女川町で生活していました。同町も海岸沿いの市街地を中心に大津波の襲来を受け、街が姿を消してしまっ

富岡町消防団に所属し、昨年度から「とみおか守り隊」に従事している。
昨年11月には、第24回全国消防操法大会小型ポンプ操法の部に福島県代表として出場した。

現実と向き合いながら、故郷と自分の将来を模索します
被災直後、妹や実家の近所の方とメールや電話が通じたため、家族の無事を知ることができ、自分の無事を両親に伝えてもらえるように託すことができました。しばらくして、避難先の郡山市内で家族と再会し、先が見えない状況の中では家族が一緒が良いのではと考え、会社を退職し「故郷を離れた避難先へのUターン」となりました。その後、消防団員である私は、少しでも故郷復興の役に立てればと思い、町の臨時雇用事業である「とみおか守り隊」に入り、現在に至っています。
故郷への思いを携えたポンプ操法大会
昨年4月から、とみおか守り隊に従事する若手団員が中心となって、

歴史ある消防団を継承していくというだけではなく、私たちが活動する姿を見て故郷復興への希望を持ち続けてほしい、そして、全国の皆さんに被災地でも頑張り続けている若者がいることを知ってほしいという気持ちで大会に臨みましたが、残念ながら入賞には及びませんでした。故郷への帰還や町が被災前のような状態に戻ることは、現実的にとても難しいとは思いますが、消防団活動を通して故郷の現実と向き合いつつ、将来への模索を続けたいと思います。



福島県 郡山市

渡辺 好 さん (本町)

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



避難でつらくても、「生かされていること」に感謝

元・高校教諭。現在、富岡町社会福祉協議会で町民の生活支援にあたっている。
現役時代は野球部を率いて「鬼監督」と呼ばれることもあったが、それだけ熱く生徒たちと向かい合ってきた。

人生を預かるという仕事
被災当時、私は県立四倉高校に勤務し、進路指導主事として主に生徒たちの就職指導にあたっていました。当時、世間は長年続くデフレ不況から脱却できず就職難の状態にあり、私を含め学

大きな被害を受けましたが、私が住んでいたアパートは幸い高台にあったため、難を逃れることができました。
叶わなかった「故郷への転勤」
被災前から、私は少しでも故郷に近づきたいという気持ちで、双葉郡にある事業所への転勤を希望していました。願いが叶い、平成23年4月から郡内で勤務する予定でしたが、震災と原発事故により転勤することができませんでした。
被災直後、妹や実家の近所の方とメールや電話が通じたため、家族の無事を知ることができ、自分の無事を両親に伝えてもらえるように託すことができました。しばらくして、避難先の郡山市内で家族と再会し、先が見えない状況の中では家族が一緒が良いのではと考え、会社を退職し「故郷を離れた避難先へのUターン」となりました。その後、消防団員である私は、少しでも故郷復興の役に立てればと思い、町の臨時雇用事業である「とみおか守り隊」に入り、現在に至っています。
故郷への思いを携えたポンプ操法大会
昨年4月から、とみおか守り隊に従事する若手団員が中心となって、

過去の挫折と気づきを生かして
私は子どもの頃から野球に打ち込みました。高校2年生の時、怪我で現役を離れましたが、野球への愛着は変わらず、野球の指導者を目指し高校教諭になりました。指導を通して野球への思いを生徒たちに託せると思っていました。初任地は養護学校(特別支援校)で、野球への夢が遠のいてしまったと思ったこともありましたが、しかし、体が不自由な子どもたちと接する中、五体満足であることにまず感謝するべき自分の姿が無いことに気付かされました。
私は、平成24年3月に定年退職し、それを機に野球の指導からも離れました。そんな中、社会福祉協議会の求人に応募して採用され、現在、避難先での生活支援を行うスタッフとして勤務しています。
仕事を通して、なかなか前向きになれないという方と接することも少なくありません。そんな時は、これまで経験した自分自身の挫折と気付きを思い出して、一人でも多くの方が一歩を踏み出せるきっかけづくりのお手伝いができるようにと目標を持って、皆さんと接しています。

介護手当について

町では、寝たきりの方と同居して在宅介護をしている介護人の方(どちらも富岡町に住民登録のある方)に対し、月額1万円の介護手当を支給いたします。

該当する方は、役場郡山事務所健康福祉課介護保険係までご連絡ください。聞き取りをさせていただいた上で、申請書を送付いたします。

※「寝たきりの方」とは、次の①～③のいずれかに該当する方です。

- ① 日中も主にベッド上で過ごし、日常生活において何らかの介助が必要な70歳以上の方
- ② 介護を常時必要とする重度心身障がい者の方
- ③ 要介護認定が4もしくは5の方

ただし、次の場合は該当になりませんのでご注意ください。



要支援・要介護の方へ紙おむつ購入費支援について

町では、要支援1から要介護5の認定を受けている方で常時紙おむつを使用し、在宅で生活している方に紙おむつ購入費用(月額上限3,000円)を支給します。

申請用紙は、役場郡山事務所健康福祉課介護保険係に備えてありますので、お電話にてお問合わせください。なお、富岡町のホームページからダウンロードすることもできます。

健康福祉課 介護保険係

平成27年度自動車税の定期課税について

自動車税は、毎年4月1日現在で自動車を所有している方(割賦販売の場合は所有者)に課税されます。

平成27年度自動車税の納税通知書は、5月8日(金)発送予定です。納期限の6月1日(月)までに納付してください。

富岡町 復興局 国税課
☎0244-266-1127

金融庁と財務局からの大切なお知らせ

東日本大震災により住めなくなった住宅のローンは残っていませんか?

「個人版私的整理ガイドライン」を利用することにより、一定の要件を満たすと住宅ローンなどの免除を受けることができます。

【メリット】

- ① 個人信用情報の登録などの不利益を回避できる。
- ② 国の補助により、弁護士費用がかからない(運営委員会に登録された弁護士に限る)。
- ③ 手元に残せる現預金の上限が50万円を目安に拡張されている。義捐金等は、右記50万円とは別に手元に残すことができる。

個人版私的整理ガイドライン 運営委員会
☎0120-3800-883
福島支部
☎024-526-0281
受付時間：平日9時～17時

いわきや海外での作品展示

昨年3月、いわき市のアリオスで開催された「藝大アートマネジメントプラスいわき」という取組みの中で、私は原発事故後の故郷・富岡町に課税されます。

平成27年度自動車税の納税通知書は、5月8日(金)発送予定です。納期限の6月1日(月)までに納付してください。

富岡町 復興局 国税課
☎0244-266-1127



増田 有美さん (出身・新夜ノ森) TOMIOKA 桜(さくら) 通信



東京芸術大学大学院を経て、東京都内の皮革製品会社で設計の仕事に就く傍ら、油絵の創作活動を続けている。震災後、故郷への思いを表現する作品を描いている。

信じ難い事態「原発事故」大地震や大津波の被害はもとより、原発事故で故郷の全住民が避難を余儀なくされたことは信じ難いことでした。震災発生後、避難中の同級生や友人と会う機会がありました。年代的に幼い子どもを持つ親になっている方

ふるさとへの思いを描き続けます

や妊娠中の方が少なくありません。本人たちの元気な姿を見て安心した二方子どもたちの安全と将来を心配する気持ちに複雑な思いを感じました。

様々な視点で描き続けること

これまで数回、帰還困難区域の中にある自宅を訪れました。植物が生い茂り、人の息遣いが感じられませんが、当初そうした様子を「自然に凌駕されてしまふ」と思いましたが、自然の側からみると「人間のコントロールを離れ、野生に回帰している」とも感じられました。また、ふるさとの象徴である桜やツツジは、人々の避難とは関係なく花をつけています。そんな姿に様々な思いが浮かぶ中、感じた事を書き始めました。

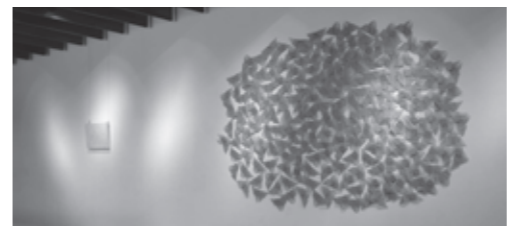
地震や津波、そして原発事故により生じた被害の様子という「事実」を通して、自分は何を感じたのか、人は何を思うのかという「真実」に語りかけたいという思いなのかもしれません。

いわきや海外での作品展示

昨年3月、いわき市のアリオスで開催された「藝大アートマネジメントプラスいわき」という取組みの中で、私は原発事故後の故郷・富岡町

の姿を描いた作品を4点展示しました。ふるさとのシンボルである桜を、絵と同時にその絵を印刷した半透明の紙で小さな蝶を数多く折り、壁一面に貼り飾ったものを一体とした作品「春待つ」を出品しました。

また、日頃お世話になっているギャラリーとの縁で、香港で個展を開かせていただき、原発事故後のふるさとを描いた作品を展示させていただきました。そして、来場者の皆さんから大きな関心を寄せていただき、現地ではマスコミでも報じられ話題となりました。被災から4年、時間の経過と共に色々な意味で故郷の姿や人々の考え方は変化を続けると思います。私はそうした「故郷の真実」について今後も様々な視点で描き続け、世界中で1人でも多くの皆さんに分っていただくと思うと同時に、私の作品を見て、心の復興のようないかに繋げてもらえればと思っています。



展示された作品「春待つ」(左：絵、右：桜柄の蝶の折り紙)

富岡町ごみ出しカレンダー

| 平成27年4月 | | | | | | | 平成27年5月 | | | | | | | |
|----------------------|----|----|-------------|----|----|----|----------------------|------|------|------|------|------|-------------|--|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | | 1 | 2 | |
| | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
| 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | 燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日 | | | | | | | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
| 燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日 | | | | | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | |
| 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | 燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日 | | | | | | | |
| | | | | | | | 31 | 6月1日 | 6月2日 | 6月3日 | 6月4日 | 6月5日 | 6月6日 | |
| | | | | | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | |

ごみは分別したうえで、上記の回収日にお出しください。回収業者は、数日かけて町内のごみステーションを巡回し、順次、ごみの回収を行います。粗大ごみやリサイクル対象家電、危険物等は、ごみステーションでの回収はいたしません。分別方法やごみの出し方については、平成27年3月20日発行の広報お知らせ版に同封の「平成27年4月からのご家庭の片付けごみの回収について(お知らせ)」又は町ホームページをご参照ください。

復興推進課 除染対策係

～福島県相双管内工事安全推進協議会からのお知らせ～ 大型工事用車両へのステッカー掲示の取組みについて

当協議会では、相双管内の復旧・復興工事が本格化し、大型工事用車両等の交通量が大幅に増加したことから、運転者の交通安全や法令遵守に対する意識向上と地域の皆さんからのご意見に迅速に対応できるように、大型工事用車両へステッカーを掲示いたします。

ステッカーは、県の発注者ごとに色分けし、工事箇所と受注者をアルファベットと数字で表示しています。工事用車両等に関するご意見がある場合は、ステッカーの色とアルファベット・数字をご確認の上、下記までお問い合わせください。



大型工事用車両前面のイメージ



大型工事用車両後方のイメージ

◀ステッカー
掲示箇所

○福島県の発注機関とステッカー色

- 黄色…相双農林事務所農村整備部発注工事
- 緑…相双農林事務所森林林業部発注工事

- オレンジ…相双建設事務所富岡土木事務所発注工事
- 青…相馬港湾建設事務所発注工事

☎ ダンプトラック情報ダイヤル ☎0244-26-5924

放射性セシウム濃度測定日のお知らせ

【ゲルマニウム半導体式核種分析装置(検出限界目標1ベクレル)】
20ベクレル以下の小さい値も検出でき、富岡町では1ベクレル検出を目標に定め、測定しています。

| 受付月 | 測定日 | 測定場所 |
|-------|----------|--------------------|
| 4月受付分 | 5月7日(木) | 富岡町役場庁舎 (本岡字王塚) |
| | 5月18日(月) | |
| 5月受付分 | 6月8日(月) | |
| | 6月22日(月) | |
| 6月受付分 | 7月10日(金) | |
| | 7月24日(金) | |

※富岡町内の水・土壌・果樹等を測定します。
※詳細は、申込まれた方へ毎月初旬にご連絡いたします。
▶申込み先 富岡町役場産業振興課
☎0120-33-6466

【簡易放射能分析装置(検出限界値 約20ベクレル)】
20ベクレル以上の放射能を検出します。

| 実施施設 | 申込み先 | |
|------------------------------|-----------------------------|----------------|
| 富岡町役場郡山事務所 いわき支所 大玉出張所 | 富岡町コールセンター ☎0120-33-6466 | |
| 三春ベクレルセンター (三春の里敷地内) | | ☎080-3933-6772 |

※各施設で予約を受け付けております。申込み先へご連絡いただいた際に、ご希望の実施施設をお選びください。

～震災からの事業復興や経営改善を考える方へ～ 福島県産業復興相談センターのご案内

「福島県産業復興相談センター」は、東日本大震災による直接被害や風評等の間接被害により、経営改善の方法や借入金に関する金融機関の取引でお悩みの方を支援するため、国により設置された公的機関です。相談は無料で、相談内容の秘密も厳守されます。

- 震災前の借入金と復旧の借入れを合わせると返済が大変
- 震災等で債務超過になり、新規融資を受けることが難しい
- 条件変更の期限が来るが、資金繰りが難しく再延長が必要

上記のような経営に関する相談があれば、下記までお問い合わせください。また、商工会も地域事務所として相談窓口になっています。
※福島県のホームページにて「福島県 二重債務」で検索できます。

☎ 福島県産業復興相談センター
☎024-573-2561
(平日8:30~17:15)
<http://www.f-fukko-soudan.jp>

福島県による放射線内部ひばく検査のお知らせ

福島県保有の移動車載式ホールボディカウンター車が郡山地区・いわき地区を巡回し、放射線内部ひばく検査を行います。

検査を希望される方は事前申込みが必要となりますので、申込み先までご連絡ください。
会場・日程については次のとおりです。

《検査対象者》

平成4年4月2日から平成25年4月1日までに生まれた方は、検査を2回受けられます。
※成人の方は、これまで検査を受けたことが無い方が対象です。

《検査会場・日時》

| 郡山地区 | 検査会場 | 日時 |
|-------|-------------------------|----------------|
| 郡山地区 | 富岡町役場 郡山事務所 第二会議室 | 5月7日(木)13時~16時 |
| | | 5月8日(金)9時~16時 |
| | | 5月9日(土)9時~12時 |
| いわき地区 | 富岡町役場 いわき支所 多目的施設 | 5月11日(月)9時~16時 |
| | | 5月12日(火)9時~16時 |

※12時~13時は除きます



車載式ホールボディカウンター車

《申込み先》

富岡町役場コールセンター ☎0120-33-6466
※町では、下記の医療機関でも放射線内部ひばく検査を行っています。希望される方は、町コールセンターまでお申込みください。
○ひらた中央病院(平田村)
○ときわ会いわき泌尿器科(いわき市)
○渡辺クリニック(南相馬市)
○福島赤十字病院(福島市)
○馬場病院(広野町)

☎ 健康福祉課 放射線健康管理係

個人積算線量計(D-シャトル)貸出のお知らせ

町では、貸与を希望された方へ個人積算線量計D-シャトルの貸出を行っております。貸出している機器は、一人一台お持ちになる線量計と線量を確認する表示器のセットです。

線量計に蓄積されたデータは、富岡町役場郡山事務所、いわき支所、三春・大玉出張所に設置している専用のパソコンで確認することができますので、ぜひご利用ください。

なお、個人線量計をお持ちでない方で貸与を希望される方は、担当までお問い合わせください。



線量計 表示器

☎ 健康福祉課 放射線健康管理係

広報とみおか 送付先についてのお知らせ

平成27年2月6日発行の広報とみおか2月号より、広報紙が同じ住所にお住まいのご家族へ重複して送付されるケースが発生しております。これは、このほど行われた富岡町避難者管理システムの変更により生じているもので、今後は広報紙発送に係るデータを精査させていただき、送付先や部数の見直しを行ってまいります。

なお、今まで広報紙が届いていたのに届かなくなった、または広報紙は不要なのに届くようになったなどの方がいらっしゃいましたら、お手数でも下記の電話番号までご連絡をいただきますようお願いいたします。

☎ 総務課 秘書広報係 ☎0120-33-6466

問い合わせ先

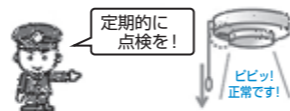
- 富岡町役場郡山事務所
富岡町議会事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
FAX 024-961-3441
 - 富岡町教育委員会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
FAX 024-953-6304
 - 榎葉分室(復旧課・復興推進課)
〒979-0515
福島県双葉郡榎葉町大字上小崎字小山6-2
FAX 0240-25-8254
 - 富岡町役場いわき支所
〒970-8024
福島県いわき市平北白土字宮前8番地
FAX 0246-88-1975
 - 富岡町役場三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
FAX 0247-62-0901
 - 富岡町役場大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
FAX 0243-48-1147
- ※上記への連絡はコールセンター
☎0120-33-6466まで

- 富岡町役場連絡所(下郡山集会所)
〒979-1132
福島県双葉郡富岡町下郡山字真壁327-1
☎ 080-5743-5409・
080-5743-5410
FAX 0240-25-8804
- 大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎ 0243-48-4710
FAX 0243-48-4710
- NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-5299
FAX 024-983-5297
- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3345
FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3332
FAX 024-935-3334

双葉消防本部からのお知らせ

平成25年に発生した火災統計から、火災の特徴や対策を考え、さらなる防火意識を向上させましょう。

- 一日当たりの火災発生件数は約132件
平成25年中に全国で発生した火災は、48,095件でした。
- 建物火災は、全火災の52.1%
ちょっとした不注意から火災が発生しています。特にたばこ・コンロ・ストーブは注意が必要です。
- 死因の52.4%は逃げ遅れ
住宅用火災警報器を設置していると、いち早く火災に気づくことができます。設置している警報器は、定期的に動作確認をしてください。



浪江消防署 0240-38-2119 富岡消防署 0240-25-2119

双葉地方水道企業団からのお知らせ

水道水中における放射性物質のモニタリング検査結果

双葉地方水道企業団では、福島県の「水道水の放射性物質モニタリング検査実施要領」に基づき週3回の検査を実施してまいりましたが、12月15日採水分より検査を毎日実施しています。結果は以下のとおりです。

水道施設の復旧工事は、道路・下水道の復旧に合わせて配水系統ごとに進めています。水道の使用が可能となった区域については、広報紙等により案内いたします。なお、水道メーター付近の調査及び止水作業のため、お客さまの敷地内に立ち入らせていただく場合がありますのでご理解とご協力をお願いいたします。

| 採水年月日 | ヨウ素131 | セシウム134 | セシウム137 |
|-------|--------|---------|---------|
| 2月1日 | | | |
| 2月2日 | | | |
| 2月3日 | | | |
| 2月4日 | | | |
| 2月5日 | | | |
| 2月6日 | | | |
| 2月7日 | | | |
| 2月8日 | | | |
| 2月9日 | | | |
| 2月10日 | | | |
| 2月11日 | | | |
| 2月12日 | | | |
| 2月13日 | | | |
| 2月14日 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 2月15日 | | | |
| 2月16日 | | | |
| 2月17日 | | | |
| 2月18日 | | | |
| 2月19日 | | | |
| 2月20日 | | | |
| 2月21日 | | | |
| 2月22日 | | | |
| 2月23日 | | | |
| 2月24日 | | | |
| 2月25日 | | | |
| 2月26日 | | | |
| 2月27日 | | | |
| 2月28日 | | | |

■採水場所：小山浄水場
■水源：木戸川(ダム放流水)

■採水場所：関根浄水場
■水源：富岡川(伏流水)

※いずれの検体も、2月28日時点で放射性物質は不検出です。
※「不検出」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1.0Bq/kg)未満であることを示しています。

《参考》検査日現在の目標値 (単位：Bq/kg)

| | ヨウ素131 | セシウム134 | セシウム137 |
|-------------------------|--------|---------|---------|
| 食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値 | - | | 10 |

測定機関：双葉地方水道企業団
分析装置：ゲルマニウム半導体検出器
検査頻度：毎日(12月15日採水分以降)
測定方法：緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法(放射能測定マニュアル(文部科学省))

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

双葉地方水道企業団 富岡営業所 ☎0240-25-5315
開庁時間：平日 8:30~17:15

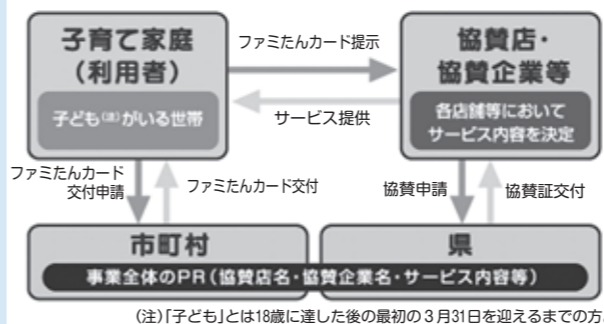
福島県子育て応援パスポート事業

ファミたんカードのお知らせ

子育て中の皆さん、「ファミたんカード」を活用していますか？
これは、社会全体で子育て家庭を応援するために取り組んでいる事業で、福島県では平成19年から実施しています。協賛店でファミたんカードを提示すると、店のご厚意により割引やプレゼントなど様々なサービスを受けることができます。
カードは、県内の保育園、幼稚園、学校を経由して配布されています。また、対象世帯へ申請書を送付しましたが、お手元に届いていない方や紛失された方は、富岡町役場健康福祉課福祉係までご連絡ください。



【ファミたんカードのしくみ】



発行はお住まいの市町村に申し込んでください。詳しくは市町村児童福祉担当部署にお問合せください。紛失した場合の再発行も受け付けています。

Q. どうやって使うの？

協賛店のステッカーを掲げたら、お得な割引やサービスがあるサインです。サービスを受けるには、「ファミたんカード」を提示するだけです。



Q. どんなサービスがあるの？

協賛店によって異なります。福島県のホームページで確認することができます。

協賛店数は3,970店舗(平成27年2月現在)

Q. いつまで使えるの？

お子さんが18歳に達した後の3月31日までです。なお、現在のカード有効期限は、平成32年3月31日です。

※県外への転出や有効期限を過ぎた場合は、町へ返却してください。他人への譲渡や貸出は禁じられています。

【6県連携事業スタート】

近隣県との事業連携により他県の優待カードを取得して、それぞれの協賛店舗等で優待サービスを受けることができます。各県のカードを取得するには、申込みが必要です。詳しくは、福島県子育て支援課までお問い合わせください。



埼玉県



栃木県



茨城県



群馬県



新潟県

福島県子育て支援課 ☎024-521-7198

健康福祉課 福祉係

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)
 ※以前の線量と比較することを目的とし、6ヵ月前の町内線量と除染済みの測定場所を示しました。

| No. | 測定場所 | H27.3.2~3 | | H26.9.8~9 | | 除染状況 |
|-----|---------------|-----------|-------|-----------|-------|------|
| | | 天気:晴れ~くもり | | 天気:くもり~晴れ | | |
| | | 地上1m | 地上1cm | 地上1m | 地上1cm | |
| 1 | 下千里消防屯所 | 0.75 | 0.62 | 1.18 | 0.71 | 除染済み |
| 2 | 上千里消防屯所 | 0.36 | 0.33 | 0.48 | 0.45 | 除染済み |
| 3 | 杉内消防屯所 | 0.61 | 0.53 | 0.71 | 0.56 | 除染済み |
| 4 | 第二工業団地入口 | 1.89 | 2.88 | 3.16 | 2.63 | |
| 5 | 高津戸集会所 | 1.30 | 0.97 | 1.21 | 1.04 | 除染済み |
| 6 | 富岡第二中学校東側 | 1.42 | 1.88 | 1.53 | 1.98 | |
| 7 | 新夜ノ森集会所 | 4.52 | 6.90 | 4.65 | 7.48 | |
| 8 | 夜の森公園 | 1.97 | 4.81 | 2.41 | 4.84 | |
| 9 | 松の前待避所 | 5.95 | 11.64 | 7.72 | 8.76 | |
| 10 | 小良ヶ浜集会所 | 3.95 | 3.93 | 4.71 | 4.28 | |
| 11 | 町境(小良ヶ浜地区) | 5.41 | 6.42 | 7.63 | 9.56 | |
| 12 | 深谷消防屯所 | 4.06 | 4.20 | 5.18 | 5.34 | |
| 13 | 富岡町営野球場 | 0.78 | 0.57 | 0.93 | 0.69 | 除染済み |
| 14 | 観陽亭前 | 0.87 | 1.50 | 1.04 | 1.71 | |
| 15 | 富岡合同庁舎西側 | 2.04 | 2.18 | 2.49 | 2.68 | |
| 16 | 富岡養護学校 | 2.62 | 4.69 | 2.76 | 5.35 | |
| 17 | 老人福祉センター | 5.57 | 8.62 | 5.94 | 9.31 | |
| 18 | 夜ノ森駅 | 4.46 | 5.96 | 5.27 | 5.93 | |
| 19 | 王塚集会所 | 1.25 | 1.71 | 1.41 | 0.94 | 除染済み |
| 20 | 諏訪神社前 | 0.79 | 0.62 | 2.42 | 2.81 | |
| 21 | 上本町消防屯所 | 0.96 | 1.05 | 2.33 | 3.79 | 除染済み |
| 22 | 上本町集会所 | 0.60 | 0.50 | 1.66 | 2.62 | 除染済み |
| 23 | リバルヒルズ入口 | 1.62 | 3.06 | 1.80 | 3.33 | |
| 24 | 赤木集会所 | 0.33 | 0.30 | 0.42 | 0.30 | 除染済み |
| 25 | 上郡山集会所 | 0.37 | 0.39 | 1.27 | 1.75 | 除染済み |
| 26 | 太田集会所 | 0.55 | 0.83 | 0.59 | 0.58 | 除染済み |
| 27 | 原下消防屯所 | 0.31 | 0.23 | 0.93 | 2.42 | 除染済み |
| 28 | 富岡駅 | 工事中 | 工事中 | 0.71 | 1.62 | |
| 29 | 清水消防屯所 | 0.52 | 0.42 | 0.60 | 1.01 | 除染済み |
| 30 | 役場 | 0.90 | 1.08 | 1.05 | 1.20 | 除染済み |
| 31 | 浄化センター | 0.20 | 0.16 | 0.25 | 0.22 | 除染済み |
| 32 | 毛萱集会場 | 0.19 | 0.16 | 0.43 | 0.37 | |
| 33 | 富岡保育所 | 0.59 | 0.52 | 1.84 | 2.92 | |
| 34 | 中央児童館 | 0.93 | 1.42 | 1.20 | 1.87 | 除染済み |
| 35 | 栄町駐車場 | 0.75 | 0.56 | 0.88 | 0.64 | |
| 36 | 岩井戸消防屯所 | 0.38 | 0.31 | 0.41 | 0.31 | 除染済み |
| 37 | 小浜住宅団地内公園前 | 2.44 | 4.47 | 3.03 | 5.23 | |
| 38 | 双葉環境センター | 1.74 | 2.02 | 2.02 | 2.30 | |
| 39 | NHK電波塔入口(浜街道) | 2.44 | 3.67 | 3.35 | 4.39 | |
| 40 | 深谷集会所 | 2.11 | 3.83 | 4.65 | 4.86 | |
| 41 | 赤坂神社前 | 4.40 | 5.76 | 5.19 | 7.34 | |
| 42 | 太平洋フリーディング前 | 8.35 | 18.86 | 10.20 | 22.40 | |
| 43 | みよし前交差点 | 7.59 | 17.70 | 7.89 | 12.30 | |
| 44 | 富岡自動車学校前 | 4.25 | 10.22 | 5.08 | 10.30 | |
| 45 | リフレ富岡 | 2.65 | 3.94 | 3.29 | 4.53 | |
| 46 | 東洋育成園前 | 1.85 | 3.48 | 3.01 | 4.43 | |
| 47 | 富岡インター駐車場 | 2.42 | 3.44 | 2.87 | 3.88 | |
| 48 | 上手岡児童館 | 1.50 | 2.92 | 1.92 | 2.59 | 除染済み |
| 49 | 下千里ライスセンター前 | 2.20 | 3.44 | 2.16 | 4.39 | |
| 50 | 館山荘前 | 2.37 | 3.66 | 2.83 | 3.87 | |
| 51 | 夜の森つつみ公園 | 3.36 | 3.71 | 3.85 | 4.21 | |
| 52 | 総合運動場東側駐車場 | 3.40 | 4.60 | 4.24 | 5.73 | |
| 53 | 華の樹前 | 4.16 | 5.48 | 4.40 | 5.73 | |
| 54 | 宝泉寺前 | 2.31 | 4.13 | 1.27 | 1.06 | |
| 55 | 国道6号第二原発入口前 | 0.80 | 1.34 | 0.93 | 1.43 | |
| 56 | 猪狩スタンド前 | 0.56 | 0.42 | 0.41 | 0.36 | 除染済み |
| 57 | なべや駐車場前 | 0.76 | 1.78 | 0.83 | 1.92 | |
| 58 | 大東銀行富岡支店前 | 0.97 | 1.05 | 1.07 | 1.03 | |
| 59 | 富岡漁港 | 0.41 | 0.34 | 0.44 | 0.37 | |
| 60 | サンライズイン富岡前 | 0.46 | 0.50 | 0.83 | 1.44 | |
| 61 | 福島富岡簡易裁判所前 | 1.49 | 2.62 | 1.78 | 3.11 | |
| 62 | ヨークベニマル富岡店前 | 1.16 | 2.41 | 1.58 | 2.72 | |
| 63 | 今村病院前 | 2.54 | 5.49 | 3.37 | 6.10 | |
| 64 | 福島銀行富岡支店前 | 1.22 | 2.74 | 1.62 | 3.25 | |
| 65 | 龍台寺前 | 1.02 | 2.17 | 1.47 | 3.17 | |
| 66 | 清水団地前 | 1.20 | 2.56 | 1.85 | 2.65 | |
| 67 | 猪狩電気通信工業前 | 1.02 | 1.67 | 1.31 | 1.84 | |
| 68 | 上郡消防屯所 | 0.48 | 0.42 | 0.97 | 1.69 | 除染済み |
| 69 | 岩井戸鉱泉 | 0.97 | 1.29 | 0.93 | 1.45 | |
| 70 | 富岡工業団地 | 0.34 | 0.52 | 0.26 | 0.21 | 除染済み |
| 71 | 成沢の滝入口 | 0.76 | 1.72 | 0.95 | 1.65 | |
| 72 | 沼名子橋 | 1.49 | 2.39 | 1.86 | 2.60 | |

測定器: γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

とみおか保健だより

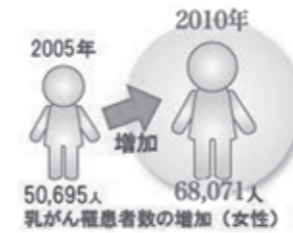


第3回 「乳がんを知ろう」

日本人女性に増えている乳がん

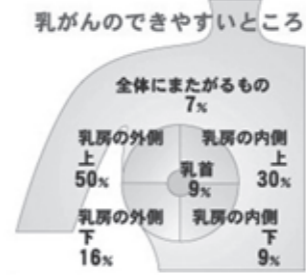
乳がんは欧米人に多いが、最近では日本人の間でも年々増加しています。これは、女性がかかるがんの第1位で、女性の12人に1人が発症する計算になります。また、30歳から64歳の働き盛りの女性では乳がんが死亡する人が最も多くなっています。また、乳がんといえは女性だけがかるものと思われがちですが、まれに男性にも症状が現れることがあります。しかし、乳がんは唯一、自分で見つけることができるので、早期に発見すれば治りやすいのが特徴です。毎月1回の自己検診と2年に1回の乳がん検診が、早期発見につながります。

増加する乳がんの罹患者数



乳がんとはどんな病気?

乳がんとは、乳房の母乳を作る場所や、母乳を乳首まで運ぶ管から発生する悪性の腫瘍です。乳がんにかかる年代ですが、30代から増え、50代がピークとなっています。最も乳がんがでやすい場所は、図のように乳房の外側の上で、次に内側の上、外側の下、内側の下、乳首となっています。



乳がんの主な症状

- ・乳房のしこり
- ・乳房のえくぼなど皮膚の変化
- ・乳頭からの分泌物
- ・わきの下などのリンパ腺の腫れ
- ・腕のむくみ、しびれなど

「しこり」が「乳がん」ではありませんので、こうした症状がある時はあわてずに乳腺外来などを受診しましょう。

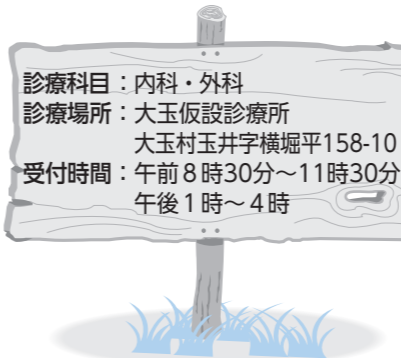
乳がんの予防と対策

乳がんだけでなく、全ての乳がんを予防するために、次の5つの健康習慣を実践することが大切です。5つの健康習慣すべてを実践する人は、実践する人に比べて、40%もがんになるリスクが低くなること示されています。まずは1つでも自分の生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。

- ①禁煙する
たばこを吸う人は吸わない人の約1.5倍、がんになるリスクが高まるということが分かっています。他人のたばこの煙を避けることも大切です。
- ②節酒する
女性は男性より体質的にお酒の影響を受けやすく、より少ない量でがんになるリスクが高まると言われています。
- ③食生活を見直す
減塩や野菜、果物を食べる、熱い物は少し冷ますことでリスクが低くなります。
- ④身体を動かす
普段の生活の中で、できるだけ身体を動かす時間を増やすことが健康につながると思います。

大玉仮設診療所診療日

| 曜日 | 診療科目 | 担当医師 |
|----|-------|------|
| 月 | 休 | 診 |
| 火 | 休 | 診 |
| 水 | 休 | 診 |
| 木 | 内科・外科 | 井坂 晶 |
| 金 | 内 科 | 堀川章仁 |



⑤適正体重を維持する
太りすぎだけでなく、痩せすぎにも注意が必要です。



発行／富岡町
編集／富岡町役場企画課広聴広報係
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL：0120-33-6466 FAX：024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>
富岡町公式フェイスブック <http://www.facebook.com/town.tomioka.fukushima>
Eメールは富岡町公式ホームページの「メールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。

いわき市泉にも「子安観音」が 写真提供 西山 栄さん(小浜)



現在お世話になっている、いわき市泉玉露地区の自治会から「玉露子安観音の初観音へどうぞ」とのご案内をいただきました。行ってみると建物の感じが富岡町の「子安観音」に似ていて、とても懐かしい思いに駆られました。

本堂の中では、地元住民の皆さんによる「数珠繰り」が行われており、写真を撮らせていただきました。

双葉高等学校 第26回(昭和48年度)卒業生 還暦同窓会 開催のお知らせ

双葉高等学校第26回(昭和48年度)卒業生の還暦同窓会を、下記の日程により開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ふるってご出席ください。

還暦を迎えてもまだまだ若さいっぱいの皆様と大いに語り合い、楽しい時間を過ごしましょう。

- ・日 時 平成27年6月13日(土) 午後12時30分より
- ・会 場 いわきワシントンホテル椿山荘(JRいわき駅 徒歩7分)
いわき市平1-1 ☎0246-35-3000
- ・会 費 男性：15,000円 女性：12,000円
- ・連絡先 代表幹事 加藤(旧姓・山田)淳子
電話 03-3628-0425
メール j-kato@adachi.ne.jp



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。